

## 議 事 録

### (1) 会議概要

会 議 名 称	平成 27 年度 第 2 回泉大津市男女共同参画審議会
日 時	平成 27 年 11 月 25 日 (水) 午後 2 時～午後 4 時
場 所	地域安全センター 2 階 会議室
審議会委員 出 席 者	岡崎委員、杉原委員、高見委員、藤原委員、宝楽委員、正木委員、松本委員、三宅委員、森野委員、守安委員 (欠席) なし  全 10 名のうち、出席 10 名、欠席 0 名
事 務 局 出 席 者	<b>【市職員】</b> 〈総合政策部〉 迫間総合政策部長、松下地域経済・人権市民協働統括監 〈人権市民協働課〉 谷口課長、近藤課長補佐、野田係員 〈秘書広報課〉 鍋谷課長 〈地域経済課労働政策担当〉 植野参事 〈こども未来課〉 橋本課長補佐 〈生涯学習課〉 浜辺課長補佐 <b>【委託業者】</b> 関西計画技術研究所 橋本
会 議 次 第	1. 開 会 2. 案 件 ①第 3 次男女共同参画推進計画 (素案) について ②その他 3. 閉 会
傍 聴 者	なし

## (2) 審議等の内容

○以下、事務局による進行

### 1. 開会（記録省略）

※迫間総合政策部長より、審議会開催にあたっての開会挨拶

○以下、会長による進行

### 2. 案件

#### ①第3次男女共同参画推進計画（素案）について

#### ②その他

※事務局より各案件の説明（記録省略）

その後、委員による質疑応答

審議会委員からの主な意見・指摘事項等	
計画の実行とアセスメント（評価・分析）について	<ul style="list-style-type: none"><li>・計画（素案）の中で、10年後の成果を客観的に把握するために、数値目標を設定したことは非常に大きな意味があると思う。一方で、数値目標を設定することそのものが重要なのではなく、あくまでもそれが10年後に達成できたか否かというところが一番重要なところである。</li><li>・計画期間である10年間の中で、計画のアセスメント（評価・分析）を具体的にどのように行っていくかということが重要である。「やった」「今後やります」という機械的な報告ではなく、「具体的に何をしているのか」「だれの意見にどう答えているのか」「市民の声に対して何を返せるのか」という視点を持って、報告をまとめていただきたい。</li><li>・取り組みについて、できていないことや、新たな課題についてしっかりと整理していただき、次年度に向けて改善していくとともに、その取り組みについて成果が出たのかどうかの検証をしていく必要がある。</li><li>・計画の策定について議論することがこの審議会の課題であるが、この計画を策定した10年後に、本当に泉大津市で男女共同参画が進んでいるのかということが最も重要なことであり、単に計画を策定することだけではなく、この10年間でどのように取り組んでいくのかということをしっかり考えていかなければいけない。</li><li>・この計画は市民のためのものであり、最終的に利益を受ける人、男女共同参画を推進する担い手となる人について、計画を実行していく上でその声を聞いていくことが重要。</li></ul>

審議会委員からの主な意見・指摘事項等

男女共同参画を推進する地域の担い手と人材育成について

・ 泉大津市の男女共同参画を推進するための拠点施設であるにんじんサロンについて、今後さらに幅広い世代に、男女ともに利用してもらうために、何をしていくかということは大事である。一方で、人材育成という部分でも、単なるにんじんサロンの利用者で終わるのではなく、地域で活躍する人や、男女共同参画を推進する担い手となる人を育てていくといったことも行っていかなければならない。

・ 行政が取り組んでいくものとして、単に男女共同参画に関するセミナーなどを実施し、市民に対して学習機会を提供するというだけでなく、実際に地域などで自ら動いていける人を育てていかないといけないと思う。

・ 人材育成というのは、大きく言うと「教育」の分野の議論であり、その実施をしていくにあたっては、人権市民協働課単独ではなく、生涯学習課などの関係部局との連携をしっかりとって、お互いに協力して進めていくほうが、限られた予算の中で合理的に推進していけるのではないかと。

・ にんじんサロンを現在利用しているグループの中にも、地域の中で男女共同参画の推進を担う人材はいると思う。

・ 今後になんじんサロンの改革を行っていくという中で、次のステップに移っていくためには、地道に手間をかけながら進めていくことが重要。

審議会委員からの主な意見・指摘事項等	
<p>「子育て世帯に対する聞き取り調査」について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子育て世帯に対する聞き取り調査」について、その報告書をみていると、生活に根ざした市民の息遣いが感じられる、非常に質の高い調査であると感じている。</li> <li>・市民アンケート調査結果の数字について、その数字がそのまま真実かという、もしかしたら実態とは違うのかもしれない可能性がある。数字だけみるのではなく、実態調査を行い市民の声を聞く機会というものが必要。</li> <li>・今回、「子育て世帯に対する聞き取り調査」を行って、市民の声を直接聞いた上でこの計画（素案）を作成したということは、とてもすばらしいことだと思う。この聞き取り調査をしっかりと引き継いでいただいて、今後も実施していってもらいたい。</li> <li>・「聞き取り調査」によるデータそのものにももちろん価値はあるが、市民としても、このような調査は行政が自分たちの意見を聞いてくれるという安心感にもつながると思う。泉大津市は市民に寄り添っていますということを明確にしていくことも大事である。</li> </ul>
<p>計画を推進していくための市民や地域などの役割について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画がなぜ進まないかという、自分事になっていないからだと思う。普段の生活の中の問題に、実は男女共同参画に起因する問題があるということに気付くと、理解が早くなる。そういった意味で、啓発や学習機会の提供はもちろん大事であるが、それだけで男女共同参画が進むわけではなく、いかに市民にとって自分事となるか、ということを出しせないといけない。</li> <li>・男性についても、女性を働きやすくするために男性が家事・育児をするというのではなく、男性にとっても男女共同参画は大事であるという、あなたのためのものであるというところがないと、おそらく男性に対して男女共同参画は進まないと思う。</li> <li>・計画（素案）の中で、市民や地域などといったものの役割が出てきていない。この計画を推進していくためには、行政のトップダウンだけで行っていくのではなく、市民や地域などと連携して進めていくことが重要だと思う。そういった意味では、市民や地域など、「誰がなにをするのか」ということが計画の中で明記されるとよいのではないかと。</li> </ul>

### 3. 閉会（記録省略）